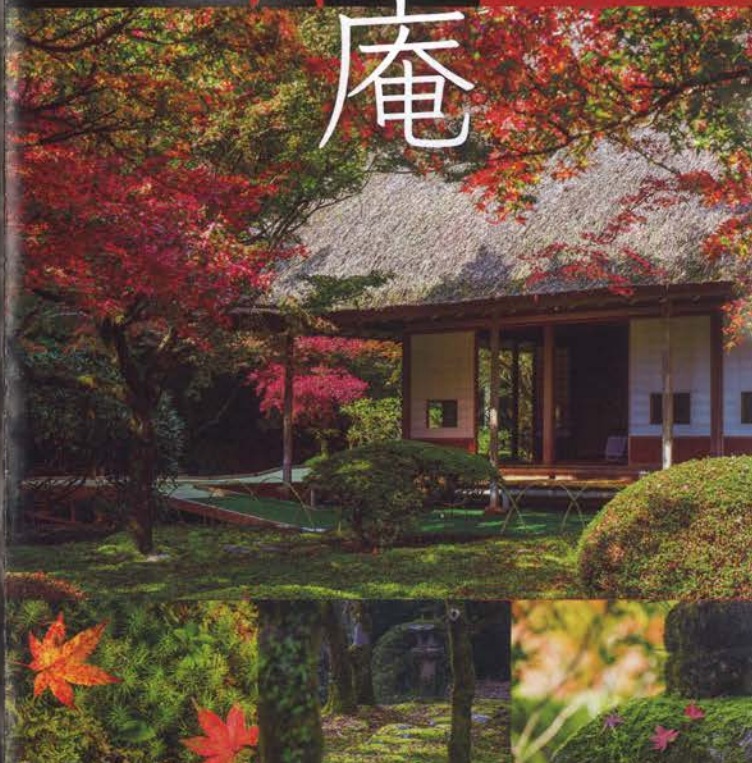


あでやかに紅葉、
しとやかに翠緑。

国の名勝

九年庵



K U N E N A N



交通アクセス

JR
長崎本線神埼駅下車
JR博多駅から約40分(鳥栖まで約15分)
九州新幹線新鳥栖駅から約15分(神埼駅まで約15分)

高速バス
福岡空港から約40分
福岡・天神から約50分

マイカー
福岡・天神から50分
(九州自動車道経由)
長崎自動車道「東脊振IC」下る
九州佐賀国際空港から車で45分



九年庵秋の一般公開
11月15日~23日
(9日間のみ)

- 九年庵周辺のみどころ**
- 仁比山神社と境内の紅葉
 - 伊東玄朴旧宅
 - 地藏院と千手千眼観音菩薩
 - 土器山と八天神社
 - 仁比山公園と愛達橋

お問い合わせ

佐賀県神崎市・神崎市観光協会
☎0952-37-0107
<http://kanzaki.sagan.jp/>

息づく茶道の心

九年庵について

神埼町の北端、仁比山神社仁王門をくぐり抜け、坂の参道をのぼりつめると、その左手には緑の生け垣に囲まれた風雅な葺葺の屋根が見えます。そこが旧伊丹家邸宅、通称九年庵です。この邸宅は、歴史的な由緒を持つのみならず、県内の庭園の中でも特に類例のない特色を有する佐賀県を代表する文化的財産といえるでしょう。四季それぞれに美しさがあり、また庭一面に広がるコケは、まるでジュウタンを敷き詰められたかのように錯覚してしまいます。この九年庵は、平成七年二月、国の名勝に指定を受けました。



九年庵の名前の由来

元来「九年庵」とは現邸宅の西北端に建てられた14坪の茶室(現在は解体)のことを指し、又「九年」とはこの庭園が九年の歳月を費やして築造されたことに由来するものです。

九年庵の概要

- 総面積 約28,000㎡ (うち山林22,000㎡)
庭園6,800㎡ 建坪320㎡(97坪)
- 持主 佐賀市の大実業家、伊丹弥太郎が明治25年から巨額な経費と多年の歳月を費やして完成させました。その後、昭和57年に倉田氏から県が土地を購入し、建物については同氏から県に寄贈されました。
- 植生 約60種(約700本)
ツツジ類 265本 モミジ類 134本 他
苔類 約40種
(ウマスギゴケ、ホソバオゴケ、カガミゴケ 他)

国の名勝

KUNENAN

九年庵

秋の一般公開/11月15日~23日(9日間のみ)



佐賀の大実業家・伊丹弥太郎が
明治25年に造った別荘と
明治33年から9年の歳月をかけて築いた6,800㎡の庭園。
毎年、紅葉の時期に9日間、一般公開されます。



あでやかに紅葉、
しとやかに翠緑。

邸宅

入母屋葺の屋根に杉腰張りの土壁、竹格子の連小窓や真竹を用いた周りの濡縁など、野趣に富む外観を持ち、材質、色感、意匠、構造などのすべてに、細心かつ十分な吟味が加えられた茶室と書院の様式を折衷した近世和室の数寄屋建築です。



九年庵庭園・総合配置図



庭園

当時の九州で茶室や築庭について並ぶものなしといわれた名人、久留米市寺町誓行寺住職、阿(ほとり)和尚が彼の築庭の理論であるところの「自然をあるがままの姿で活かし、水の有るところ、水を使う」茶道の奥義をその心として、庭木、庭石の一つ一つを吟味し、納得いくまで組替えを命じ完成させました。

面積は6,800㎡あり、深い木立の周辺の景観とよく調和し、はるかに筑紫野の広がりや有明海が眺望できるすばらしい借景庭園です。

